

# JIS

## 帳票の設計基準

JIS Z 8303 : 1998

平成10年7月20日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS Z 8303-1990は改正され、この規格に置き換えられる。

---

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 28.10.27 改正：平成 10.7.20

官報公示：平成 10.7.21

原案作成協力者：財団法人 日本規格協会

審議部会：日本工業標準調査会 基本部会（部会長 今井 秀孝）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部管理システム規格課（〒100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 帳票の設計基準

Z 8303 : 1998

## Design for business forms

**序文** この規格は、帳票の設計に際して考慮すべき仕上寸法、用紙及び印刷インキの色、文体及び書き方、用字及び用語、項目の配置、注意事項、記入欄の大きさ及び余白、文字及びけい、製本及びとじ穴についての一般的事項を規定した日本工業規格である。

**1. 適用範囲** この規格は、帳簿、伝票、届用紙など、帳票の設計基準について規定する。

**2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

**JIS P 0138** 紙加工仕上寸法

**JIS Z 8305** 活字の基準寸法

**3. 帳票の仕上寸法** 帳票の仕上寸法は、次による。

a) 仕上寸法は、**JIS P 0138**のA列とする。ただし、必要があるときは、B列を採用してもよい。

なお、仕上寸法の選択は、次による。

1) 帳票の保管及び整理に便利であるもの。

2) 帳票に対する事務用機器の利用に適するもの。

3) 同種類の帳票及び一緒につづられるものは、同じ大きさとする。

**参考** 主な帳票の仕上寸法及び紙の用い方を、**附属書1 (参考)**に示す。

b) 細長い寸法を特に必要とするときは、その短辺を $\frac{1}{2}$ 、又は長辺を $\frac{1}{3}$ にした寸法を用いる。

c) 複写簿のように紙片を切り取って用いるものは、切り取った紙片の大きさを仕上寸法とする。

d) 帳簿は、中身の大きさを仕上寸法とする。

e) ルーズリーフ式は、リーフの大きさを仕上寸法とする。

f) 控え付きの帳票は、切り取る部分の大きさを仕上寸法とし、控えの大きさは、通常切り取る部分の $\frac{1}{3}$ とする。

**備考** 控え付きの帳票とは、次の**図1**のようなものをいう。